

第5学年*組 外国語（英語）科学習指導案

指導者 秦野 範子

R2 研修センター長期研修

1 単元名 Unit6 What would you like? (東京書籍)

2 本単元の目標

自分のことを伝えたり、相手のことをよく知るために、丁寧な表現を使って注文したり会計したりすることなどについて、短い文を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりすることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><知識>What would you like? I'd like~. How much is it? It's~yen. 及び関連語句について理解している。</p> <p><技能>What would you like? I'd like~. How much is it? It's~yen. 等を用いて考えなどを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>自分のことを伝え、相手のことをよく知るために丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、お互いの考えなどを伝え合っている。</p>	<p>自分のことを伝え、相手のことをよく知るために丁寧な表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、お互いの考えなどを伝え合おうとしている。</p>

4 単元について

(1) 教材観

本単元では、注文や会計などの特有の表現が使われる買物の場面での言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・技能を育成するという目標を達成できる単元である。Unit2で、欲しいものについてI want~. を用いて聞いたり、伝え合ったりする活動を行っており、本単元で丁寧な表現で欲しいものを注文したり、会計したりして、相手を意識して自分の考えなどを伝え合うことが無理なく自然に行える教材である。また、世界の食文化にも触れ、世界と日本の文化について理解を深めた上でUnit7の日本文化を紹介する単元へとつなげていく。

(2) 児童観

本校の5年生を対象に、既習表現を使った英語の質問にどのように答えるか実態調査(令和2年8月4日実施 第5学年*組 *人)を実施した。表現が思い浮かばず、伝えられない場合の支援として、質問に関係のあるイラストを用意し、活用できるようにした。調査の結果、誕生日についての質問に適切に答えた児童が*人、イラストを指さして答えた児童が*人、日本語で答えた児童が*人で、答えにつながる反応がなかった児童が*人であった。

このことから、本校の5年生の児童は2年間の外国語活動によって英語に慣れ親しんできたと言える。一方で、Small Talk についての実態調査（令和2年10月14日実施 第5学年*組 *人）では、ALT 同士の対話の内容を理解して質問に答えたり、うなずくなどの反応があったりした児童は*人であった。同じく意識調査では、「質問に対して何を答えたらよいか考えが浮かんだか」の問いに対して、「はい」と答えたのは*人中*人であった。さらに「それを英語でどう言ったらよいか分かったか」に対して「はい」と答えたのは*人中*人であった。このことから、現時点では知識及び技能を実際のコミュニケーションで活用する力が育っているとは言えず、本学級の児童にとって、目的や場面、状況に応じて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことは難しいことが分かった。

(3) 指導観

本単元は小学校第5学年 Unit 6 「What would you like?」の学習において、「使う」から「使える」段階へとつなぐ活動を重点的に行う。第二言語習得の認知プロセスを考慮し、「知る」段階においても絵本を活用して、児童が視覚的な情報と内容に関係するやり取りから、言語材料の意味や使用場面などに気付き、理解できるようにする。「使う」から「使える」段階では、やり取りの機会を増やすことで、児童が修正を繰り返し、学習内容の定着を図ることができるようにする。そのため、必要に応じて中間指導を取り入れながら picture telling と言語活動に取り組みさせる。picture telling では、児童はイラストから会話の内容を想像し、発話練習を行う。言語活動を行う直前にも、活動の見通しをもたせるため picture telling を短時間で実施する。言語活動では、使用する表現の幅が徐々に広がるように三つの課題に取り組みさせる。一つ目は買物特有の表現だけを使用する活動とし、二つ目はさらにコミュニケーションを円滑にする、繰り返しなどの表現を取り入れた活動を行う。三つ目は英語をコミュニケーションの手段として用いて課題を解決する課題解決型の活動を行う。このように「使う」から「使える」段階へとつなぐ活動を重点的に行えば、知識及び技能が定着して使いこなせるようになり、実際のコミュニケーションで活用する力が育つのではないかと考える。

5 単元の指導計画（6時間扱い）

時	主な活動○ 【 】 = 誌面化されている活動 下線 = 評価に関わる活動	評価（○ = 指導に生かす評価 ◎ 記録に残す評価）		
		知	思	態
1	課題：丁寧に注文したり、値段を尋ねたりする言い方について知ろう。 ① 【Let's sing】 ② Small Talk：好きな食べ物 ③ 【Word Link】：第4時で使用する語彙、味 ④ ポインティングゲーム：第4時で使用する語彙 ⑤ 【Let's chant】：I'd like a hamburger. ⑥ <u>Story Book（絵本）</u> ⑦ Sounds and letters	○		
				留意点【評価方法】 知：絵本で使用している言語材料の意味等を理解しているか見取り、理解していない児童には、より簡単な質問をして理解を助ける。 【観察】

2	<p>課題：丁寧に注文したり,値段を尋ねたりする言い方について知ろう。</p> <p>① 【Word Link】: 食べ物, 飲み物, 数 第5時で使用する語彙</p> <p>② ポインティングゲーム: PDp. 8-9</p> <p>③ Short skit p.54 “How much”</p> <p>④ 【Let’s chant】: I’d like a hamburger. How much is it?</p> <p>⑤ Story Book (絵本)</p> <p>⑥ 【Let’s Try2,3】</p> <p>⑦ Sounds and letters</p>	○		<p>知: What would you like? I’d like～.How much is it? It’s ～yen.等に慣れ親しんでいるかについて見取り, 十分でない児童には, 絵本のイラストを活用して再確認するよう促す。</p> <p>【観察】</p> <p>※PD=picture dictionary</p>
3	<p>課題：丁寧な表現で注文や会計のやり取りをしよう。</p> <p>① Small Talk: できること, できないこと</p> <p>② song: 「何十」についての歌</p> <p>③ 【Word Link】: 野菜, 数, 食材(第6時に関わる語彙)</p> <p>④ 【Let’s chant】: I’d like a hamburger. How much is it?</p> <p>⑤ picture telling</p> <p>⑥ Sounds and letters</p>	○		<p>知: What would you like? I’d like～.How much is it? It’s ～yen.等を用いる技能が身に付いているかについて見取り, 身に付いていない児童には finger drill 等の指導を行う。</p> <p>【観察】</p>
4	<p>課題：友達に希望を聞いて,ハンバーガー店で注文したり,会計したりしよう。</p> <p>① 【Let’s chant】: I’d like a hamburger. How much is it?</p> <p>② Small Talk: クリスマスプレゼント</p> <p>③ ポインティングゲーム: 本時で使用する語彙</p> <p>④ picture telling (チャンツも)</p> <p>⑤ 言語活動: 買物 (ハンバーガー店)</p>	○	○	<p>思: 丁寧な表現を使って注文したり, 会計したりすることなどについて, お互いの考えや気持ちなどを伝え合っているかについて見取り, できていない児童には必要な表現について再確認させ, 会話の流れも意識しながら取り組むよう助言する。</p> <p>【観察】</p> <p>態: 丁寧な表現を使って注文したり, 会計したりすることなどについて, 自信がなく戸惑っている児童を見取り, できていることを褒め, 使用する表現を確認するよう助言する。</p> <p>【観察, 振り返りカード】</p> <p>知: 【観察】</p>
5	<p>課題：友達に希望を聞いて, アイスクリームを注文したり, 会計したりしよう。</p> <p>① song: 「何十」についての歌</p> <p>② picture telling(チャンツも)</p> <p>③ 言語活動: 買物 (アイスクリーム店) (店員用課題: 「売り上げNo.1の店員を目指そう。」)</p>	◎	◎	<p>思: 【観察】</p> <p>知: 【観察】</p>
6	<p>課題：ALTの先生から頼まれたカレーの材料を考え, 買物をしよう。材料がそろったらALTの先生に報告しよう。</p> <p>① picture telling(チャンツも)</p> <p>② 言語活動: 課題解決型 (動画を視聴/材料を考える/買物/動画を撮影)</p>	◎	◎	<p>態: 【観察, 振り返りカード】</p> <p>思: 【観察】</p>

【事前事後調査（パフォーマンス評価）】

⑨:先生が2種類のくだものを使ってジュースを作りたいそうです。先生の代わりにくだものを買ってきてあげましょう。

◇まず、先生に何のくだものがよいか聞いてきましょう。

◇次に、その2種類のくだもの買いに行きましょう。

(500円以上は予算オーバーです。)

※児童にはお金ではなくICカードで買物をさせる。

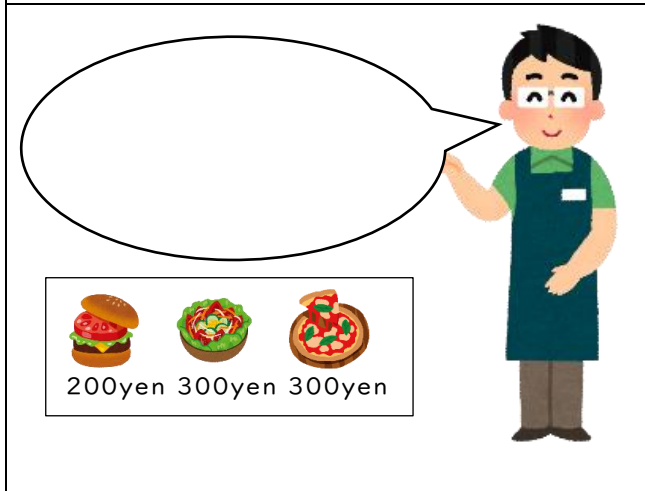
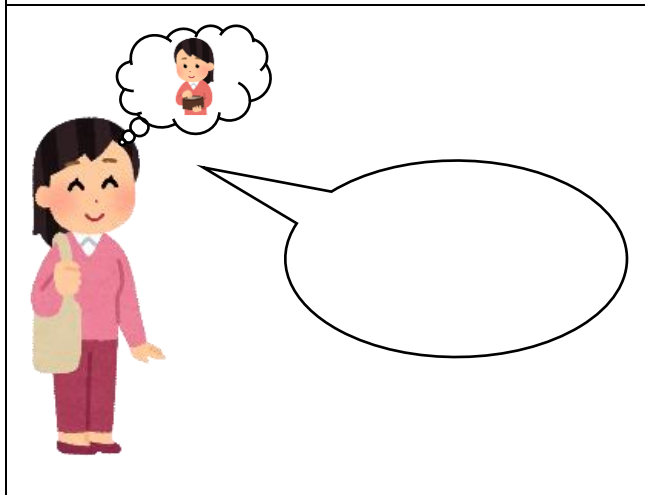
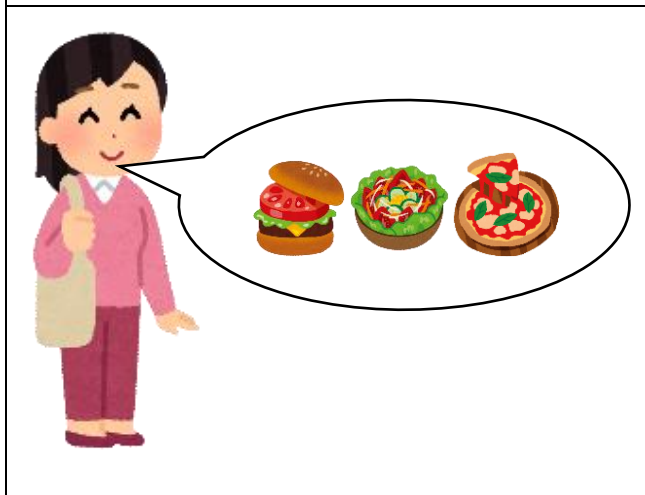
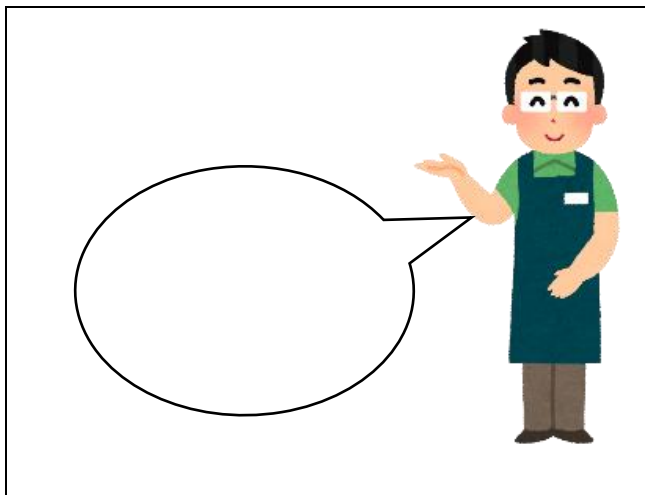
◇ルーズブリック

A(3点)B(2点)C(1点)	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	◇What fruit do you like(want)? I'd like ~. How much is it? 三つの言語材料を理解し、発音やイントネーションにも気を付けながらそれらを正しく使って買物をしている。	◇三つの言語材料を理解し、それらを使って買物をしている。	◇ヒントをもらいながら買物をしている。
思考・判断・表現	◇相手の話を理解しながら欲しいものを尋ねたり、注文・会計の表現を使って買物をしたりしている。さらに質問や応答するなどしている。また、挨拶、断る、聞き返す表現等を十分に使ってやり取りを円滑に進めている。	◇欲しいものを尋ねたり、注文・会計の表現を使って買物をしたりしている。また、挨拶、断る、聞き返す表現等を使ってやり取りを進めている。	◇促されなければ自ら発話しなかったり、相手とのやり取りが成り立たず、用件だけを伝えていたりする。また、挨拶、断る、聞き返す表現等を使っていない。

◇対話例

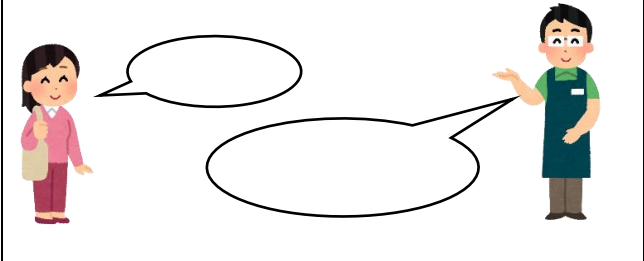
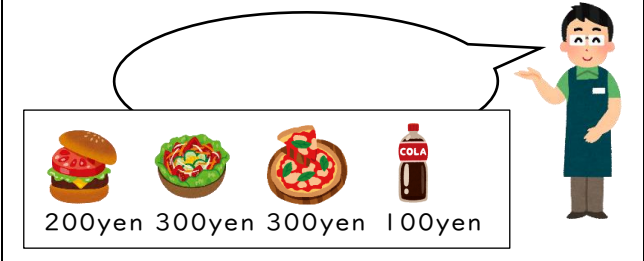
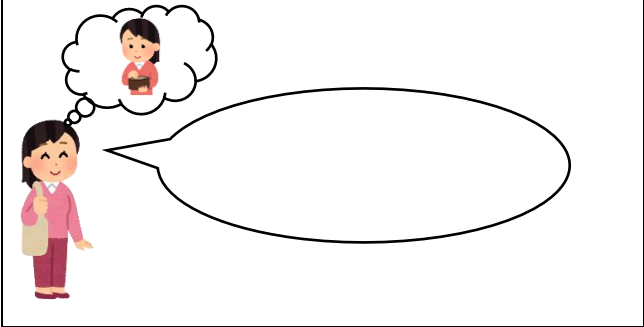
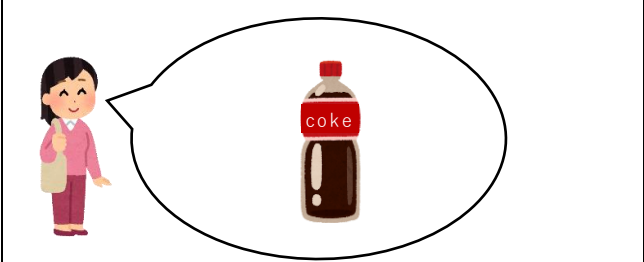
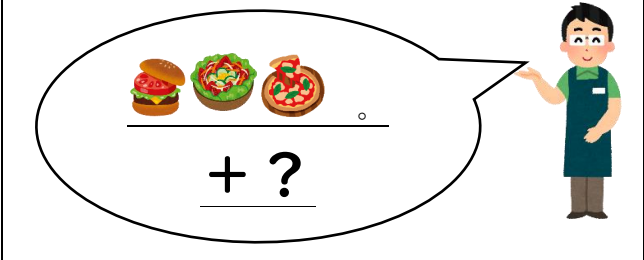
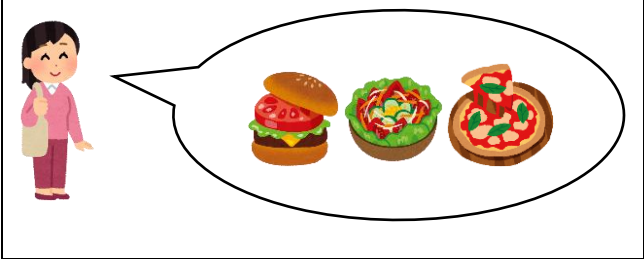
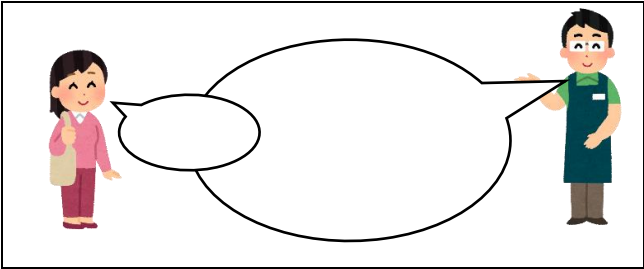
先生に尋ねる	客(児童)	〇〇先生
	<p>課題:先生にジュースに何の果物を入れたいか確認してから買物をしてこよう。(予算は500円)</p> <p>What fruit do you want(like)? OK.</p>	<p style="text-align: center;">組み合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リンゴ-メロン ・桃-バナナ ・オレンジ-キウイ ・桃-キウイ ・リンゴ-キウイ など <p>I want ~.</p>
買物をする	客(児童)	店員【ALT】
	<p>I'd like ~and ~ . <u>Yes, please.</u></p> <p><u>No,thank you./Yes, I'd like ~.</u></p> <p>How much is it?</p> <p>Yes,I do.(No,I don't.)</p> <p>Here you are.(カード払い)</p>	<p>Hello and welcome. What would you like? ~and~. ~ is sold out. (ex. Oranges made in America are sold out.) Anything else? (Would you like ~?) It's ~yen.</p> <p>It's ~ yen.(Total is ~ yen.)</p> <p>Do you have your shopping bag? A shopping bag is 20 yen.</p> <p>Thank you. (pass the receipt) Please come again.</p>

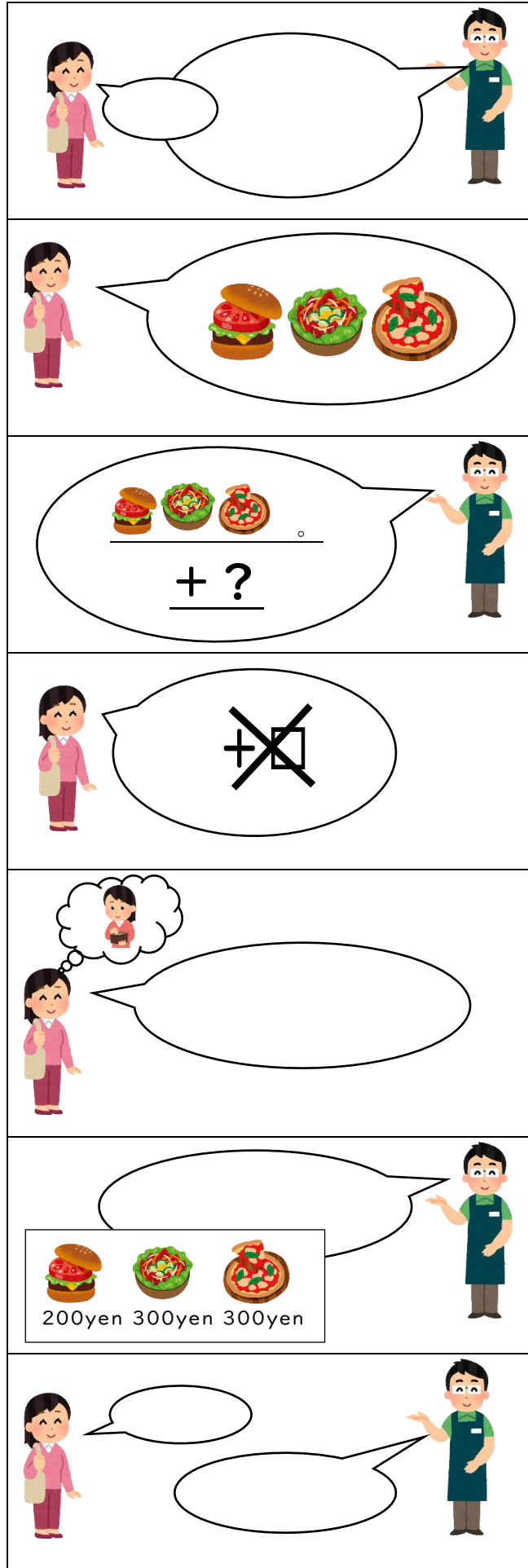
1



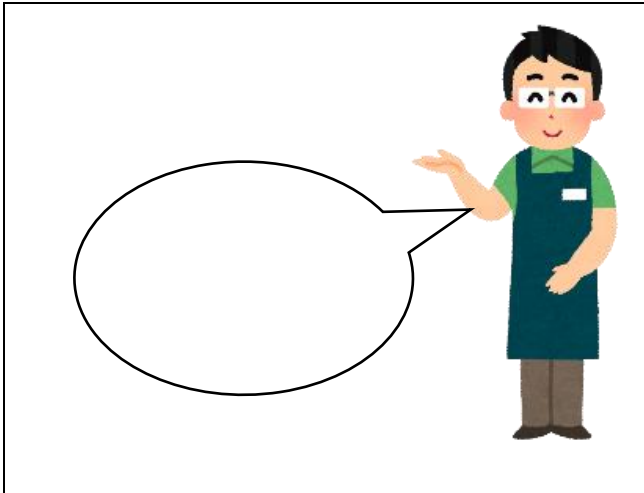
2

200yen 300yen 300yen

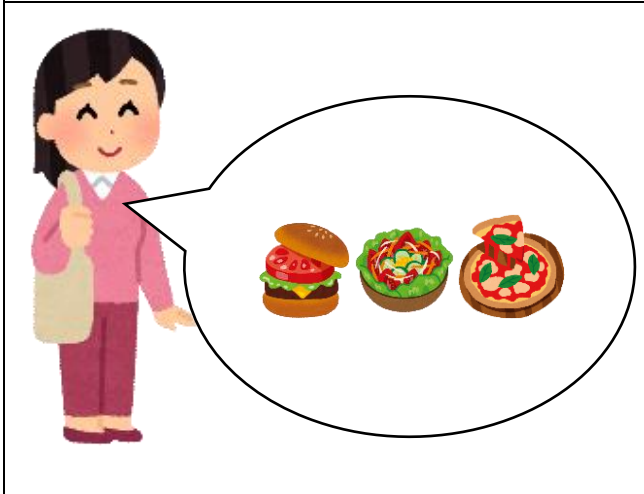




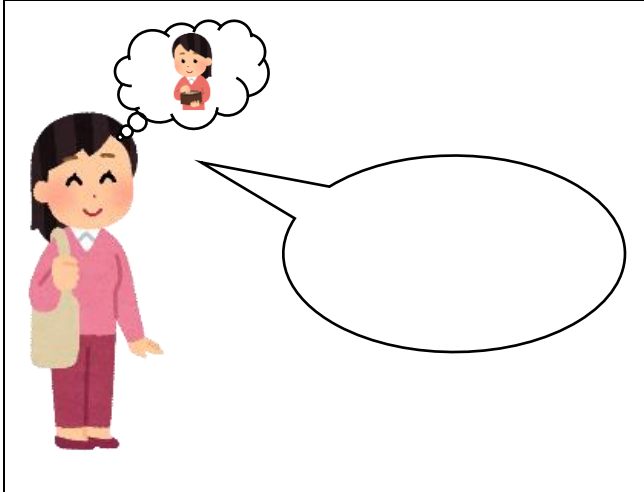
1



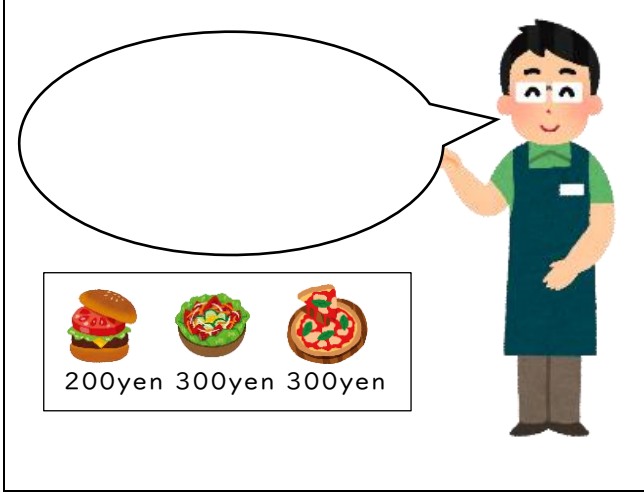
What would you like?



I'd like a cheese burger,
a salad and pizza.

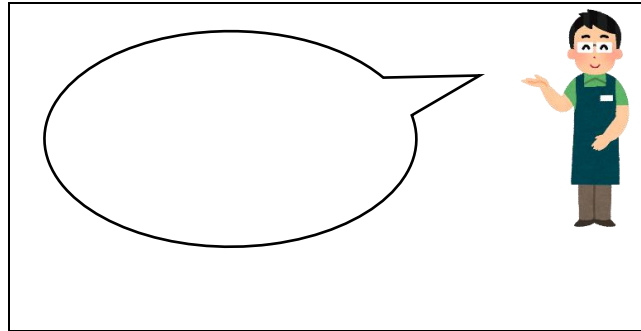


How much is it?



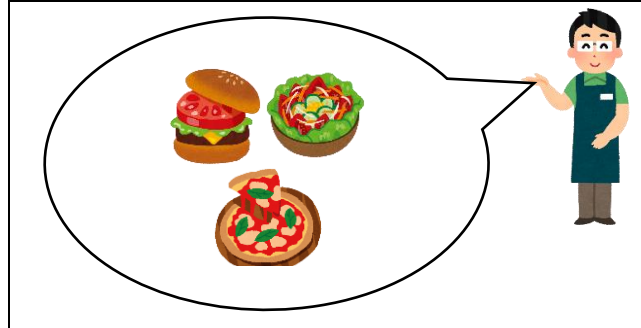
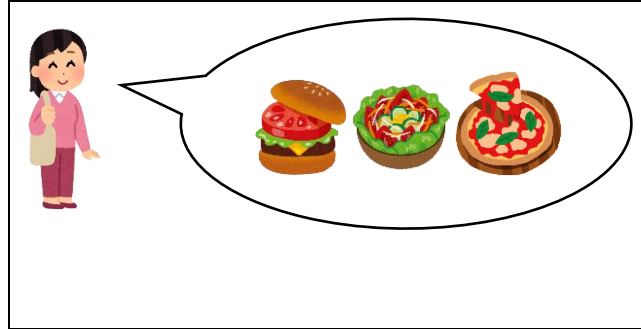
Total is 800 yen.

2



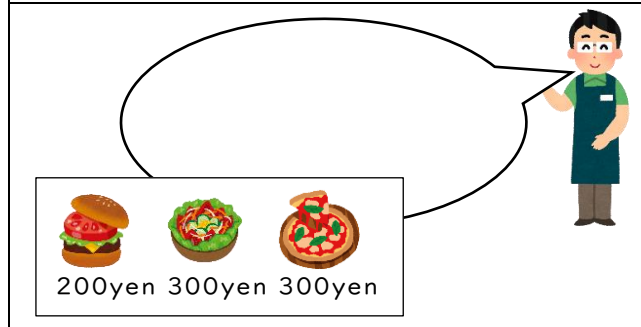
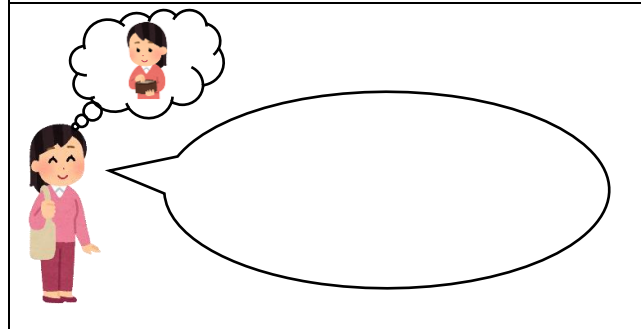
What would you like?

I'd like a cheese burger,
a salad and pizza.



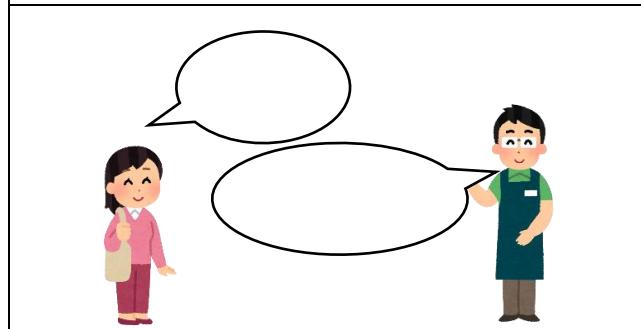
A cheese burger,
a salad and pizza.

How much is it?



Total is 800 yen.

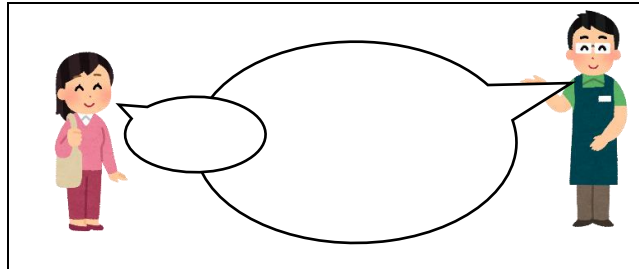
Here you are.



Thank you.

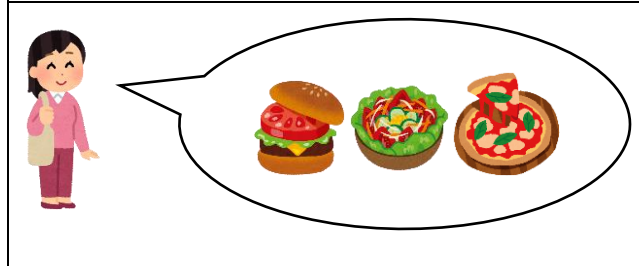
3

Hello.



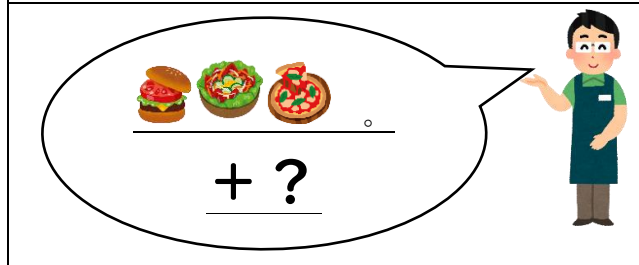
Hello and welcome.
What would you like?

I'd like a cheese burger,
a salad and pizza.

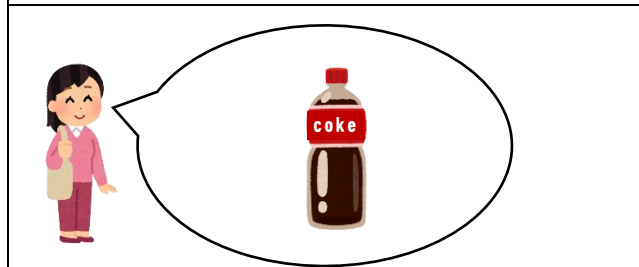


A cheese burger,
a salad and pizza.

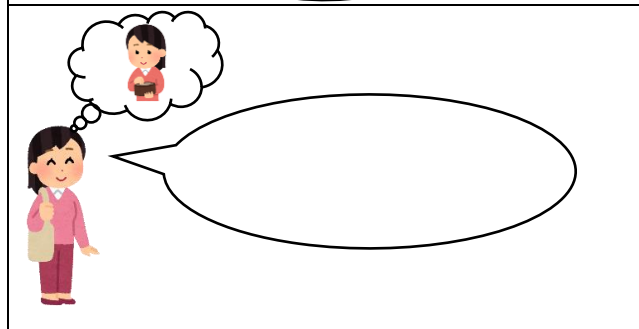
Anything else?



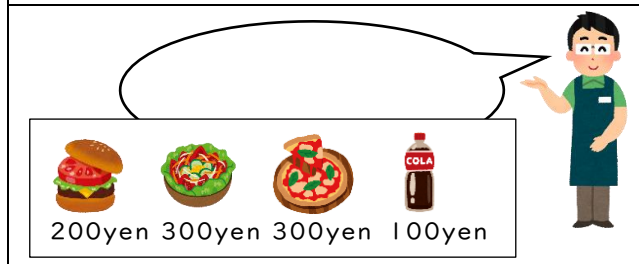
Coke, please.



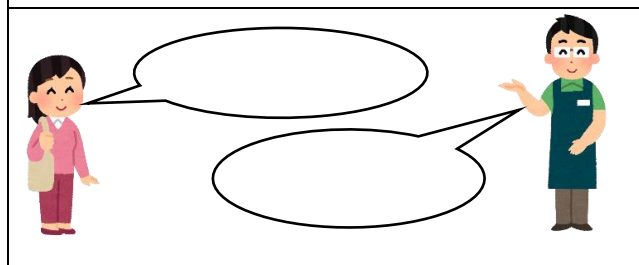
How much is it?



Total is 900 yen.



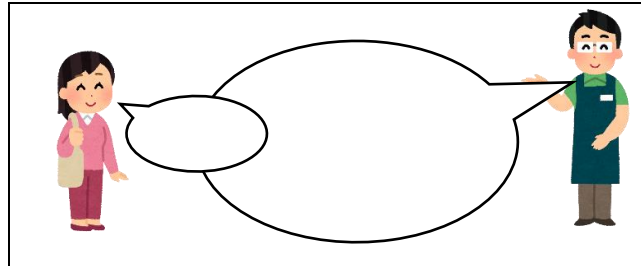
Here you are.



Please come again.

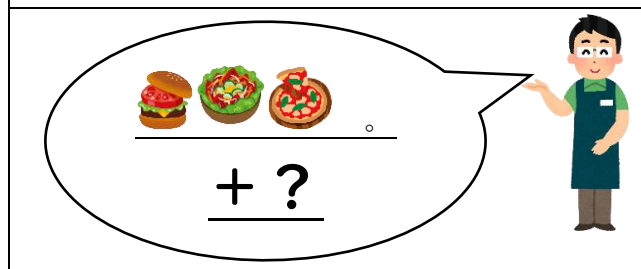
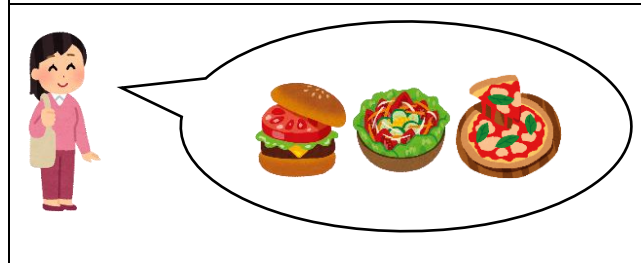
4

Hello.



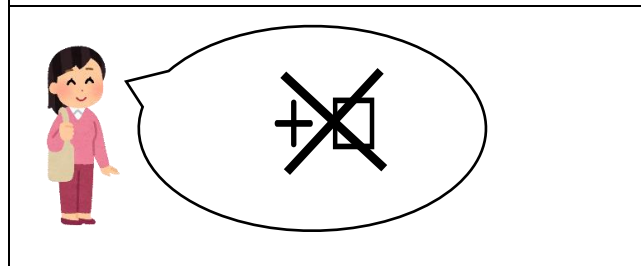
Hello and welcome.
What would you like?

I'd like a cheese burger,
a salad and pizza.

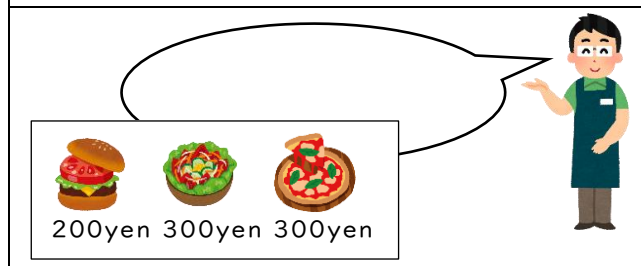
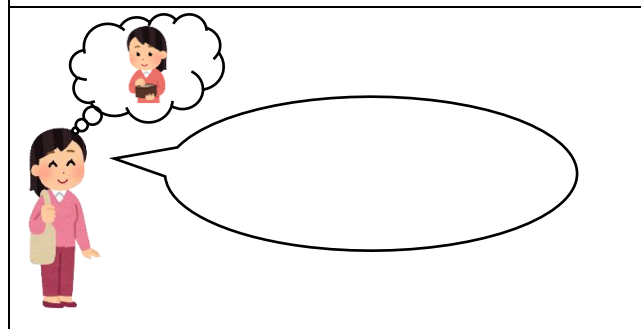


A cheese burger,
a salad and pizza.
Anything else?

No, thank you.

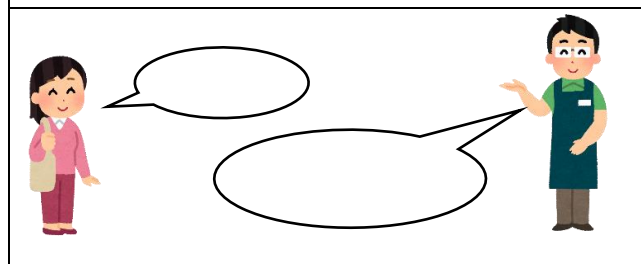


How much is it?



Total is 800 yen.

Here you are.



Please come again.